

平成 29 年度下関市環境基本計画年次報告について

下関市環境基本計画は、平成 29 年度から計画を実行しています。

本計画には、環境指標として成果指標と進捗指標があります。

成果指標は、14 指標（計画 P86）ありそれぞれの目標年度を定めた指標についてその実績を検証するものです。一方で進捗指標は、43 指標（計画 P87～P89）あり毎年度の実績を検証し次年度以降の施策に活かしていくものになります。

また、主要な施策に基づく事業が 140 事業あります。それについても一つひとつの実績について、管理用シートにより進捗管理を行います。

今回の年次報告は、成果指標や進捗指標及び主要な施策に基づく事業について、計画の進捗評価を行うために下関市環境審議会に報告するものです。

1. 成果指標

基本目標	成果指標	現状(把握年度)	平成29年度実績	目標(目標年度)
豊かな自然環境の 保全とふれあいの 推進	「水辺とのふれあい」に関する満足度	27.7% (平成27年度)	-	36.7% (平成38年度)
	「里地、里山、里海とのふれあい」に関する満足度	36.7% (平成27年度)	-	41.4% (平成38年度)
	「自然の生き物とのふれあい」に関する満足度	26.7% (平成27年度)	-	33.6% (平成38年度)
環境負荷の少ない 循環型社会の構築	「PM2.5など健康を損なう恐れのある大気汚染物質の状況」に関する満足度	29.8% (平成27年度)	-	43.4% (平成38年度)
	環境基準(大気質)の達成率	67% (平成26年度)	75% (平成29年度)	100% (平成38年度)
	環境基準(河川)の達成率	100% (平成26年度)	100% (平成29年度)	100% (平成38年度)
	環境基準(海域)の達成率	95% (平成26年度)	95% (平成29年度)	100% (平成38年度)
	ごみ排出量	1,074g/人・日 (平成26年度)	1,032g/人・日	980g/人・日 (平成29年度)
	ごみの再生利用率	21.8% (平成26年度)	24.4%	29% (平成29年度)
快適な生活空間の 確保	「まちの美しさと親しみ」に関する満足度	27.0% (平成27年度)	-	37.7% (平成38年度)
未来につなぐ低炭 素の社会づくり	下関市域からの温室効果ガス総排出量	3,660千t-CO2 (平成27年度)	3,844 (平成29年度)	2,962千t-CO2 (平成32年度)
	家庭部門:世帯あたりの温室効果ガス排出量	-	-	基準年(1990年) 比25%削減(平成 32年度)
	業務部門:延床面積あたりの温室効果ガス排出量	-	-	基準年(1990年) 比18%削減(平成 32年度)
環境保全の仕組み づくり	環境分野に取り組んでいる 市民活動団体の数	563団体 (平成28年度)	-	563団体 (平成38年度)

※「-」表記部分については、中間目標年及び計画目標年で成果指標の算定を行います。

2. 進捗指標

43 指標の進捗状況（別紙 1）

順調	2 指標
ほぼ順調	26 指標
やや遅延	7 指標
遅延	7 指標
見直し、その他	1 指標

3. 主要な施策の進捗状況

140 事業の達成状況評価（別紙 2）

A 評価（ほぼ順調）	88 施策
B 評価（半分程度は達成した）	27 施策
C 評価（着手したが進んでいない）	16 施策
D 評価（未着手）	9 施策

4. 施策の実施状況について（参考）

本計画に掲げる施策の実施状況（平成 29 年度）について、環境部関連の 10 施策を紹介します。

① 海岸漂着ごみ発生抑制のための環境啓発及び環境教育

No. 15

小学生の「ごみを捨てない心、海の環境を守ろうとする心」を育むもの下関市誠意小学校に依頼し、海岸漂着物を回収・分別し、種類別に個数及び重量を調査することにより、プラスチック等の人工物による海辺の汚染実態を把握した。



海岸漂着物調査

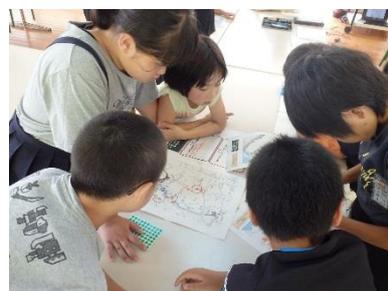
No.	事業名称	事業内容	担当課	2017年(平成29年度)取組内容	実績	達成状況評価	2018年(平成30年度)取組内容
15	海岸漂着ごみ発生抑制のための環境啓発及び環境教育	ホイ捨て等による海岸漂着ごみの発生を防ぐため、海岸漂着ごみの現状等についての啓発を行うとともに、漂着ごみの種類や個数を調査する「海辺の漂着物調査」を実施する	環境政策課	各小学校へ参加依頼を積極的に行う調査方法等について検討する	海辺の漂着物調査については、定点(彦田海岸)近くの小学校に依頼を行った	A	引き続き、各小学校へ参加依頼を積極的に行う

※ … No. : 『基本計画進捗管理表』のNo.に対応

② 「ホタル情報員」によるホタル保護及び啓発

No. 34

ホタルを観察することで、小学生に自然環境を体験学習してもらうことを目的とし、ホタル短期集中講座【前編】において、希望のあった児童をホタル情報員とし、希望地区の地図とホタルの観察を記録するためのシールで印をつけ、その地図をホタル短期集中講座【後編】に持参してもらい、教材として活用する。(23名参加)



ホタル短期集中講座

No.	事業名称	事業内容	担当課	2017年(平成29年度)取組内容	実績	達成状況評価	2018年(平成30年度)取組内容
34	「ホタル情報員」によるホタル保護及び啓発	ホタルの発生状況の調査やホタルの捕獲を防止するためのパトロールを兼ねた「ホタル情報員」を募集し、ホタル保護及び啓発に努める	環境政策課	小学校においてホタル出前講座を実施し、ホタル情報員への登録を促す	市内小学校で6校を対象にホタル情報員を募集して活動させてもらった。	A	彦田のホタル祭りにおいて、ホタル情報員を募集し、ホタル保護条例に定める乱獲被害の情報を収集する。
			彦田教育支所	町内3小学校(校長及び担当教諭)への事業概要の説明及び協力依頼 ホタル情報員の募集依頼の実施 ホタルマップの作成及び配布	平成29年5月 町内3小学校に協力を依頼、ホタル情報員の募集を行った。 平成30年3月 ホタルマップを作成し、各小学校へ配付した。	A	町内3小学校(校長及び担当教諭)への事業概要の説明及び協力依頼 ホタル情報員の募集依頼の実施 ホタルマップの作成及び配布

※ … No. : 『基本計画進捗管理表』のNo.に対応



啓発用看板の作成・配付

No. 57

環境美化条例に基づく、ポイ捨て禁止看板を作成し
市民等に配付し、環境美化を啓発した。



ポイ捨て禁止看板

No.	事業名称	事業内容	担当課	2017年(平成29年)度 取組内容	実績	達成状況 評価	2018年(平成30年)度 取組内容
57	啓発用看板の作成・配付	「ゴミのポイ捨て禁止、ふんの放置禁止」の看板を作成し、自治会等の希望者に対し配付する。また啓発看板のイラストを募集する	環境政策課	看板を作成し、希望者があれば配付する	350枚の看板を作成し、約300枚の看板を配付した。	A	引き続き看板を作成し、希望者があれば配付する。

※ … No.:『基本計画進捗管理表』のNo.に対応



下関市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の推進

No. 85

空調利用の減少など食事による省エネ効果を狙うとともに、クールビズやウォームビズランチのPRを目的としたランチを市役所本庁舎新館4階食堂において提供した。



No.	事業名称	事業内容	担当課	2017年(平成29年)度 取組内容	実績	達成状況 評価	2018年(平成30年)度 取組内容
85	下関市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の推進	「下関市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」に基づき、下関市地球温暖化対策地域協議会を中心に、市民・事業者が一体となって市域の温室効果ガス排出量を削減していくような体制づくりを目指すとともに、計画の適正かつ効果的な見直しを図る	環境政策課	下関市地球温暖化対策地域協議会会員への積極的な周知啓発・メディアを通じた啓発	メール等で環境施策や国・県の情報を提供した。メディアによるものについては、クールビズ、ウォームビズについて啓発した。	A	下関市地球温暖化対策地域協議会会員への積極的な周知啓発及び市民等へのメディアを通じた啓発を行う。

※ … No.:『基本計画進捗管理表』のNo.に対応



次世代自動車の普及促進

No. 88

北九州市との関門連携事業の一環として、電気自動車充電ネットワークの整備・拡大に取り組み、電気自動車の普及を促進することで、自動車から排出される二酸化炭素を大幅に削減し、関門エリアの低炭素化社会実現を図るとともに、新たなEV観光ルートの開発による交流人口の拡大を目的に実施しました。

電気自動車
(環境部)

No.	事業名称	事業内容	担当課	2017年(平成29年)度 取組内容	実績	達成状況 評価	2018年(平成30年)度 取組内容
88	次世代自動車の普及促進	4基の電気自動車(EV)用急速充電器の適切な管理を引き続き行う。また、燃料電池自動車(FCV)などの次世代自動車の導入・普及を促進する	環境政策課	4基の電気自動車用急速充電器の適切な管理、次世代自動車の導入・普及の促進	EV用急速充電器4基について、定期点検や必要な部品交換の実施等、適切な管理を実施した。また、大手ショッピングセンターのイベントでFCVの実車や説明パネルを展示し、次世代自動車の普及促進に取り組んだ。	A	前年度に引き続き、EV用急速充電器の適切な管理と次世代自動車の普及促進に取り組む。

※ … No. : 『基本計画進捗管理表』のNo.に対応



LED 防犯灯の設置補助制度

No. 94

自治会が設置(管理)する防犯灯のLED化費用の補助を実施しました。

【制度概要】

6,000円/灯を限度に、設置費用の1/3のいずれか低い額を補助。



LED 防犯灯

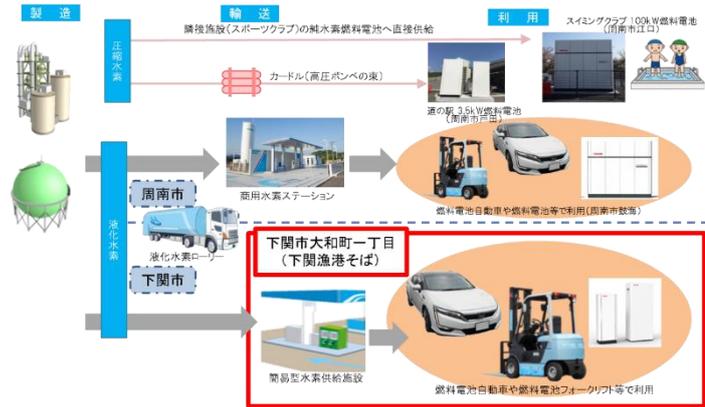
No.	事業名称	事業内容	担当課	2017年(平成29年)度 取組内容	実績	達成状況 評価	2018年(平成30年)度 取組内容
94	LED防犯灯の設置補助制度	自治会が管理するLED以外を光源とした既存防犯灯をLED防犯灯に更新する際の設置費用を補助する	環境政策課	自治会等の防犯灯について、蛍光灯等からLEDへの交換費用を助成する	185件2,147灯への補助を行った。	A	引き続き、自治会等の防犯灯について、蛍光灯等からLEDへの交換費用を助成する

※ … No. : 『基本計画進捗管理表』のNo.に対応

⑦ 水素エネルギーの利用促進

山口県の周南コンビナートに立地する苛性ソーダ工場で発生する未利用で高純度の副生水素を回収し、周南地域で燃料電池自動車や燃料電池フォークリフト、純水素型燃料電池等で利用する実証を行い、下関市域においても、当該水素を液化、輸送して同様の利用を行う地域間連携モデル実証を行う。

No. 107



No.	事業名称	事業内容	担当課	2017年(平成29年)度 取組内容	実績	達成状況 評価	2018年(平成30年)度 取組内容
107	水素エネルギーの利用促進	平成31年度まで実施する「地域連携・低炭素水素技術実証事業」において得られた知見をもとに、下関市に相応しい水素の利活用を検討する	環境政策課	簡易型水素供給施設を整備する 燃料電池自動車を公用車として導入し、運用する 純水素型燃料電池を設置し、運用する 燃料電池フォークリフトを下関漁港に導入し、運用する	簡易型水素供給施設の整備が完了し、平成29年9月から運用を開始した。 平成29年9月に燃料電池自動車1台を導入し、本市の公用車として公務出張で使用した。 平成30年3月に燃料電池フォークリフト2台を下関漁港に導入し、漁港内の荷役業務で使用した。 下関漁港に3.5kW純水素燃料電池1基を設置し、平成29年9月から使用を開始した。	A	前年度に引き続き、各実証機器・車両を使用してデータを収集し、CO2削減効果と経済性を検証する。

※ … No. : 『基本計画進捗管理表』のNo.に対応

⑧ 地球温暖化対策の促進

No. 108

6月の環境月間に市役所新館1階に環境関連の看板を設置し市民に環境に配慮した活動を啓発した。



パネル展示

No.	事業名称	事業内容	担当課	2017年(平成29年)度 取組内容	実績	達成状況 評価	2018年(平成30年)度 取組内容
108	地球温暖化対策の促進	市内で開催されるイベントでの啓発パネルの展示や本庁舎でのパネル展を開催する また、下関市地球温暖化対策地域協議会の会員に対し、国や県からのセミナー情報などを提供する	環境政策課	環境月間(6月)に本庁舎新館でパネル展を開催 セミナー情報などについては適宜提供する	6月に本庁舎新館でパネル展を実施した。セミナー情報についてもメール等で情報提供を行った。	A	環境月間(6月)に本庁舎新館でパネル展を開催 セミナー情報などについては適宜提供する

※ … No. : 『基本計画進捗管理表』のNo.に対応



リサイクルプラザにおける各種催しの開催 No. 124

子どもたちが楽しく遊びながら環境問題に取り組むことの大切さを学ぶ場としての市民啓発イベント「サマー・キッズエコフェスタ」を開催した。



魚釣り体験

No.	事業名称	事業内容	担当課	2017年(平成29年)度 取組内容	実績	達成状況 評価	2018年(平成30年)度 取組内容
124	リサイクルプラザにおける各種催しの開催	下関市リサイクルプラザを会場としたイベントを開催する。年1回開催するサマー・キッズエコフェスタのほか、環境月間(6月)、地球温暖化防止月間(12月)には環境意識の啓発のための催しを企画する。	環境政策課	サマー・キッズエコフェスタの開催 環境月間と地球温暖化防止月間には環境意識の啓発のための催しを企画する	サマー・キッズエコフェスタを開催し、多くの来場者があった 環境月間にはパネル展示や緑のカーテン推進をおこなった 地球温暖化防止月間には、ウォームビズの推進を行った	A	サマー・キッズエコフェスタの開催 環境月間と地球温暖化防止月間には環境意識の啓発のための催しを企画する

※ … No. : 『基本計画進捗管理表』のNo.に対応



ごみの減量、再資源化に関する普及啓発 No. 125

市内在住の小学1年生から小学6年生とその保護者を対象に親子リサイクル教室を通じて、ごみ減量等の重要性について理解を深めた。



親子リサイクル教室

No.	事業名称	事業内容	担当課	2017年(平成29年)度 取組内容	実績	達成状況 評価	2018年(平成30年)度 取組内容
125	ごみの減量、再資源化に関する普及啓発	小学生とその保護者に対し、親子リサイクル教室(夏休み期間)を通じてごみ減量等の重要性について分かり易く説明を行い、ごみの排出抑制に対する意識の向上を図る	クリーン推進課	夏休み期間中に市内在住の小学1年生から小学6年生とその保護者を対象に親子リサイクル教室を通じて、ごみ減量等の重要性について分かり易く説明を行う	参加者 53組 126名	A	前年度同様、夏休み期間中に市内在住の小学1年生から小学6年生とその保護者を対象に親子リサイクル教室を通じて、ごみ減量等の重要性について分かり易く説明を行う

※ … No. : 『基本計画進捗管理表』のNo.に対応